

第1回～第3回のワークショップの流れ

【第1回】

テーマ:新庁舎建設をきっかけとした南九州市のまちづくりについて語り合おう

開催日・会場:令和3年10月3日(日)14時～16時 知覧文化会館 2階大会議室

市全体の まちづくり

- ①南九州市がもっと「暮らしやすいまち」になるために、新庁舎建設をきっかけに、行政がどのようなことに力を入れると良いか、行政サービスがどう変わると良いかを出し合います
- ②どんな庁舎ができたならよいかについて話し合います

【第2回】

テーマ:穎娃、知覧、川辺のことを語り合おう

開催日・会場:令和3年10月16日(土)14時～16時 穎娃文化会館 2階研修室

令和3年10月17日(日)10時～12時 知覧文化会館 2階大会議室

令和3年10月17日(日)14時～16時 川辺文化会館 1階研修室

各地域の まちづくり

- ①穎娃・知覧・川辺地域が「どんなまち」かを出し合います
- ②まちを良くするための現庁舎・支所の空間・敷地の使い方のアイデアを出し合います

【第3回】

テーマ:新庁舎周辺のまちづくりと必要な「モノ」「コト」について語り合おう

開催日・会場:令和3年10月31日(日)14時～16時

JA南さつまふれあいセンター 2階大会議室(JA南さつま知覧本所隣接)

新庁舎周辺の まちづくり

- ①新庁舎に必要な「モノ」や「コト」を出し合い、必要な理由を話し合います
- ②出し合った意見をもとに、キャッチフレーズを話し合います



新庁舎建設に向けて

みな、みりょく!



南九州市

南九州市の これからを語り合おう! ワークショップニュース

新庁舎建設をきっかけに南九州市全体や各地域がどうなるか、どんな庁舎ができるかについて市民のみなさんと語り合うために、全3回のワークショップを開催しています。本ニュースでは、10月3日(日)に行われた、第1回のワークショップの様子をお伝えします。

◆第1回ワークショップ開催概要◆

開催日:10月3日(日)

開催時間:14:00～16:00

開催場所:知覧文化会館
2階大会議室

新庁舎建設に向けたワークショップが始まりました。

南九州市では、新庁舎建設に向けた検討をすすめています。市庁舎は、建設後半世紀以上が経過し、施設的にも機能的にも老朽化しています。

市では、市民のみなさまの様々なご意見を聞きながら、市の将来に向けた計画を作っていきたくと考え、一緒に語り合うためのワークショップを開催することになりました。

◆当日のプログラム◆

1. 開会、あいさつ
2. ワークショップについて
3. グループ分け
4. ワークショップ ①
「もっと暮らしやすいまちになるには」
5. ワークショップ ②
「どんな庁舎になったらよいか」
「どんな新庁舎ができたならよいか」
6. グループ発表・まとめ
7. 閉会

ワークショップとは?

ワークショップとは、参加者同士で様々な意見を出し合いながら、あるテーマについて語り合う場、手法のことです。

具体的には、少人数のグループに分かれて話し合いを行い、意見をまとめていきます。ワークショップでは、誰もが思ったことを言える雰囲気づくりが大切です。

どんな人が参加しているの?

ワークショップには参加を希望した市民や市内の高校生など年齢・性別を問わず参加しています。



■南九州市の「ここが暮らしやすい!」「こうなればもっと暮らしやすい!」を発表しました。

自然・風景・環境

- ・自然がいっぱい、自然がゆたか
- ・素晴らしい風景
- ・景色がきれいで癒される
- ・のどか
- ・静かなところ、静かで過ごしやすい
- ・ちょうど良いくらいの田舎感
- ・何も無いことが良いところ

ひと

- ・人柄がよい
- ↓
- ・子どもが輝けるまち
- ・人口増加

利便性

- ・市役所、郵便局、銀行が近くて便利
- ↓
- ・コミュニケーション施設があるとよい
- ・交通が不便(交通が便利になる)

■新庁舎建設をきっかけに南九州市がもっと暮らしやすくなるためには、行政がどのようなことに力を入れると良いか、行政サービスがどう変わると良いかを語り合いました。

■政策

- 市のPR戦略の明確化
- 人口を増やすための施策
- 大企業誘致
- もっと市民に庁舎建設のことを知らせる

■暮らしの環境・生活の向上

- ネットワークの向上(フリーwi-fiなど)
- 治安の情報開示
- ゴミ出しルールの統一
- 集落合併による自治会の協働性
- 集まりやすいお店の増加
- 地域通貨等(ポイント)導入
- 防犯カメラによる防犯対策の充実
- 街灯を明るくしてほしい
- 市民中心のイベントの創出

□施設・店舗の充実

- ・商業施設(中型店舗)
- ・交流できる施設
- ・室内運動施設(ジムやプール)がほしい
- ・公園の整備(増設)
- ・病院の増設

■健康増進

- 健康のためのわかりやすい情報
- 長寿命の情報
- 病気に対する防疫問題対策

■高齢者支援

- 高齢者が気軽に集える場所
- スマホやパソコンの使い方を教えてほしい

■子育て支援

- 保育所を増やす
- 子どもたちの教育への投資
- 県立高校の生徒数の充実
- 子育て世帯への支援、負担減少

■行政サービス

- サテライトオフィスの設置
- ・公民館の活用
- ・地区公民館の充実(利便性の促進)
- 支所機能の充実
- ・WEBの活用

■職員

- 市民とたくさん関わってほしい
- 自治体サポーターの活躍
- 非正規職員をなくす(先導的PR)

■産業・観光

- 市外へのPR活動の活発化
- 魅力の拡大

■交通

- ひまわりバス
- ・有効活用(スクールバスとの併用)
- ・新庁舎行の増発
- 通勤道路を作ってほしい
- 新庁舎への移動手段の整備
- 交通の利便性の増進
- 道路整備
- ボランティア輸送
- カーシェアリングの設置

■土地

- 人口増を目指した住宅地の充実
- 空き地・空き家対策

■心配ごと

- 税金が上がらないようにしてほしい

■どんな庁舎になったらよいか、どんな新庁舎ができればよいかを語り合いました。

デジタル技術による庁舎機能や行政サービス、生活の向上に資する庁舎

みんなの
庁舎

デジタル化

■庁舎のコンセプト

- ひととモノがつながる庁舎
- 大人から子どもまでみんなが利用できる庁舎
- デジタル庁舎
- 防災庁舎
- 花・木・水等 南九州の自然を感じられる庁舎
- SDGsに即した庁舎
- シンプルでわかりやすい庁舎
- どんな時代、性別の人にも優しい庁舎
- 武家屋敷のまちらしさを感じられる庁舎
- 南九州のハブとなる庁舎
- 安心して利用できる庁舎
- 市のシンボルとなる庁舎
- 目立つ庁舎
- 簡素、シンプルな庁舎
- 全国にPRできるような庁舎

■行政機能・設備

- 庁舎に行きやすい
- 駐車場
- ・停めやすい
- ・広い、ゆとりある駐車場
- ・広くなくてもよい(職員はバスを利用)
- トイレの機能性
- ・バリアフリー
- ・ウオッシュレット
- 太陽光パネル設置
- 網戸の設置
- おしゃれな空間
- 待合室
- 庁舎中心部にエントランスを配置
- 図書館を併設
- 最上階に展望・休憩スペース
- スポーツ施設の併設
- ・ボルダリング、スケートボード、スポーツバイク等
- イベントができるスペース
- ・ミニコンサート
- ・フリーマーケット
- 明るい(照明)
- 地区公民館の活用

■庁舎周辺

- 庁舎周辺のライトアップ
- 周囲に散歩道
- 周辺の道路を広く

■新庁舎の建物

- 平屋建て
- 木造(地場木材使用)
- 外観より内容、便利さを重視
- コンパクト
- バリアフリー
- ユニバーサルデザイン
- 庁舎門は武家門
- 日本建築

■行政サービス

- デジタル化
- ・窓口電子申請
- ・デジタル承認による利用で支所不要
- ・デジタルによる案内板
- ・支所からオンラインで相談できる
- 窓口の一本化(ワンストップ)
- ・ひとつの階で用件が済む
- 目的別に番号等でわかりやすく
- 窓口案内ロボット
- 時間延長
- 人権を守る窓口
(顔が見えない、音が聞こえない)

■人材活用

- U-ターン者の有望な人材登用
- ITのスペシャルな人材活用
- IT時代に対応できる人材と仕事のスリム

■産業・観光の機能

- 観光案内・情報発信
- 特産品の販売
- 空き家等のマッチングが出来る拠点
- 南九州市のすべてが発信できる場所
- 観光に力を入れてほしい

■生活の利便性

- カフェ
- ・自由に使える
- ・知覧茶が飲める
- コンビニ
- ポストの設置
- ATMの設置
- フリーwi-fiの設置

■交通

- バスの充実
- 民間バスの終点

利用しやすい

情報発信
拠点

便利